



創造みらい半田 水野尚美

外国籍の方に対する支援

問 新型コロナウイルス感染症に対する支援について、外国籍市民が必要とする情報をどのように伝え、どのような手段で、生活上の困りごとを把握しましたか。

答 情報については、市のホームページに掲載、又は、その他国際交流協会などの協力を得て伝えました。困りごとについては、インターネットを活用したアンケート調査、又は、市の生活支援課や、半田市社会福祉協議会、市民活動団体などからの情報により、失職や収入の減少など、生活困窮に至っている状況を把握しています。

問 特別定額給付金などの申請について、どのような支援をされていますか。

答 多くの外国籍市民が暮らす集合住宅に掲示したり、半田商工会議所のホームページやメールマガジンにより、雇用主から申請を勧めていただきました。又、特別定額給付金の窓口では13ヶ国語に対応可能なテレビ電話通訳を活用して説明をしています。



問 ワンストップ型窓口の開設や、多言語対応をする人の増員など、相談窓口の充実が必要と考えますがいかがですか。

答 現在配置しているテレビ電話通訳と翻訳機ボットだけでなく、多言語対応をする人を新たに配置し、正しい情報の取得、伝達に努めます。

問 半田市で暮らす外国籍の方に対して今後どのような取組みを推進していくのか伺います。

答 市民として等しく行政サービスを受けていただけるよう、外国籍の方専用のサイトを新たに設置するなど、ホームページの充実をはじめとし、SNSを利用した情報発信をしていきます。そして、窓口である市民協働課を案内する多言語の表示など、相談しやすい環境整備と情報発信の充実に努め、半田市が良いまちだと思っていただけけるように努めます。



創造みらい半田 久世孝宏

新型コロナウイルス感染症対策の理由・方針の説明を

問 様々な対策について多くの市民の方にご理解をいただくために、半田市を取り巻く状況や疫学的知見など、様々な情報をどのように分析し、種々の判断基準の中で、特に何を優先したのか、優先をしなかったこととどのように配慮をしたのか等、対策を決めた理由と、状況がどのように変わったらどう対応をするのかその方針について十分に説明をすべきと考えますがどうですか。

答 理由や方針について市民の皆様に分かり易くお伝えしていきます。

問 コロナ禍により、生活様式や人の価値観が大きく変わろうとしている中、総合計画策定のデータとするために昨年実施した市民アンケート調査の結果やまちづくり市民会議の意見は変わる

かもしれません。このまま最上位計画を策定すべきではなく、第7次総合計画の策定期限を1年遅らせてはどうですか。

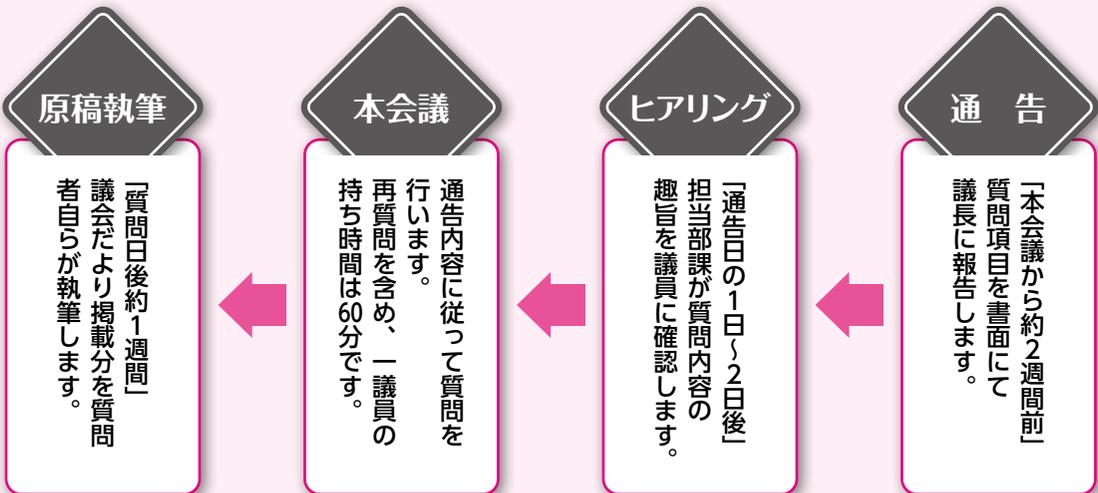
答 まちづくり市民会議や市民アンケート調査は今後10年間のまちづくりの方向性を展望するための参考とさせていただくために実施しており、コロナ禍の影響は有り得るものの、その方向性が大きく変わるものではないと考えています。コロナ禍への対応は、中長期的な視点で第7次総合計画を策定し、現時点では予定通り令和3年4月から新たな総合計画をスタートします。

問 メリット・デメリットをしっかりと整理した上で、このまま続けるべきか、まちづくり市民会議や総合計画審議会のみならず他に何ってはどうですか。

答 このまま行うのか、あるいはアフターコロナのことを考え、新しい形の基本構想を作るべきとの意見があれば、そうすることも必要だと思います。時間的なことも含めて、考えます。



一般質問（原稿執筆までの流れ）



市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）